

大地とともに育つ子

感じる・学ぶ・未来へ

感じる力

人や自然とふれあい、感じる力（徳）

心を養い、体を育む力（徳・体）

学びに向かう力

めあてをもち、学び続ける力（知）

共に学び合い、学びを広げ、深める力（知）

未来を創る力

生き方に学び、生き方を見つめる力（公）

夢や希望をもち、まちに生き、社会とつながる力（公・関）



自然

浅間の自然環境

ひと

子ども、教職員
保護者、地域

まち

地域の環境

教育活動の方策〈三耕教育〉

地耕 *ア 自然とふれあい、自然から学ぶ*

- 栽培活動の時間を確保し、計画的に取り組む。
- 浅間台小マルシェ（収穫祭）を開催し、保護者や地域に発信する。

イ 心を広げ、心と体を育む

- 読書の時間を確保し、読書活動に計画的に取り組む
- 縦割り活動を充実させ、互いの良さを実感させる。
- 人権週間の取組を拡充し、人権意識を高める。
- 運動の日常化や健康への意識の向上に取り組む。

知耕 *ア めあてをもち、学びを追求する*

- 教科等の横断的な学びを創造する。（生活科・総合的な時間の充実）
- 少人数指導・教科分担制・専科授業の充実や出前授業の積極的な活用に取り組み、授業力を高める。
- あゆみの形式を改良し、児童がPDCAサイクルを実現できるよう取り組む。

イ 共に学び合う、喜びを感じる

- 学習形態の工夫や指導法の改善を図る。
- 朝自習の内容を検討し、基礎・基本が身につくようにする。
- 積極的に相互評価を取り入れ、互いの良さを理解し尊重する心を育てる。
- 特別支援教育を充実させ、すべての子どもに寄り添う教育活動を実践する。

路耕 *ア 生き方に学び、生き方を見つめる*

- 剣道や茶道を「路耕の時間」として位置づけ、礼節の心を養う。
- 「まちの先生」をゲストに、仕事の大切さやその思いにふれさせ、自分の生き方を見つめさせる。

イ 未来を創造する

- ひとやものにふれる本物の体験を重点的に取り入れ、夢や希望をもって、なりたい自分がデザインできるようにする。
- まちの一員として地域の行事に積極的に参加したり、まちに発信したりできるようにする。